

## 2. 空洞化調査

地下レーダー探査の結果として、空洞の恐れがある箇所を、次頁「空洞調査結果図」に示す。

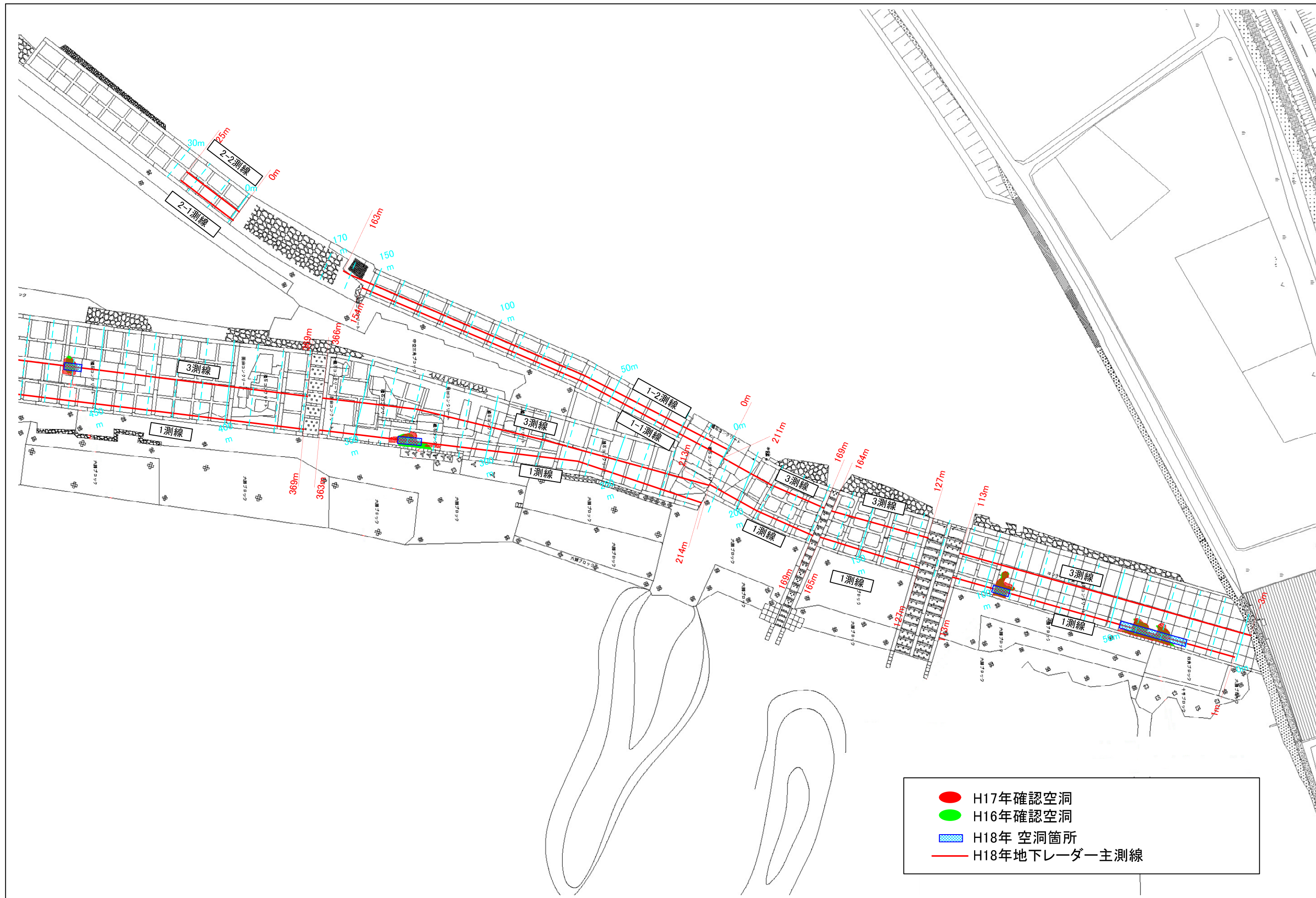
同図では、既往調査結果との比較のため、以下のような色分けで平成 16 年度および平成 17 年度調査で抽出された空洞箇所を併記した。

H16 調査結果空洞箇所	緑色
H17 調査結果空洞箇所	赤色
H18 調査結果空洞箇所	水色

平成 18 年度の空洞調査の結果を以下に示す。

- ① 平成 16・17 年度調査で確認された空洞は、平成 18 年度の調査結果から、ほぼ同範囲であり、拡大傾向は認められない。
- ② 平成 18 年度の調査結果から、新たな空洞は確認されなかった。

以上のことから、堰被覆コンクリート下の空洞に大きな変化は認められない。



- H17年確認空洞
- H16年確認空洞
- H18年 空洞箇所
- H18年地下レーダー主測線

空洞調査 結果図